

多治見市
児童発達支援センター

わかば



令和6年4月 竣工

ご挨拶



多治見市長
高木 貴行
令和6年3月

この度、児童発達支援事業所「なかよし」、「ひまわり」及びことばの教室（養正幼稚園・昭和幼稚園）を機能統合し、新たに、地域の中核的な発達支援の拠点となる多治見市児童発達支援センター「わかば」をオープンしました。

多治見市における療育は、昭和50年の「ことばの教室」の開設から約50年にわたり、「早期療育・早期発見で児童・保護者を支援する」を掲げ、発達支援センター「なかよし」、「ひまわり」及び「ことばの教室」に引き継がれてきました。本施設では、時代とともに変わる療育ニーズへ応えられるよう、言語訓練や摂食時の姿勢等の訓練を行える専用室を設けました。

また、18歳未満の子どもとそのご家族が多治見市で安心して暮らせるよう、気軽に発達相談等を受けることができる相談室も設けました。その他、本施設だけでなく、多治見市全体の発達支援がより充実したものになるように、地域の事業所と共に、互いに情報交流したり、研修したりすることができる場も備えています。

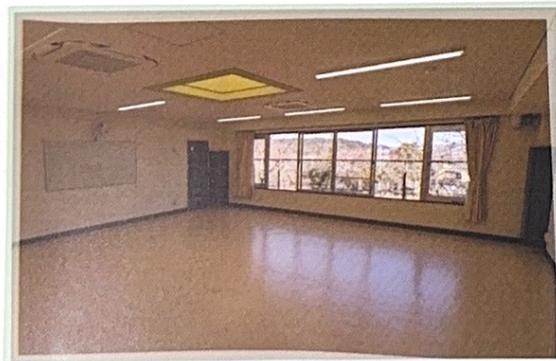
この児童発達支援センターは、子どもたちがよりすくすく大きくなるようにとの願いをこめ、さらに、これまでの「ひまわり」、「なかよし」、「ことばの教室」の思いをしっかりと引き継げるよう「わかば」という愛称をつけました。この「わかば」が地域の中核的な療育支援拠点施設として、皆様に愛されるよう務めてまいります。子どもの発達などについて心配なことがありましたら、ぜひ、気軽にお越しください。



▲正門



▲指導室①



▲感覚統合訓練室②



▲感覚統合訓練室①(吊り遊具)

施設の特徴

- ① 児童福祉法に規定する「児童発達支援センター」であり、発達支援に関する中核的な施設です。
- ② 育児や発達に関する相談に対応できる体制を整えています。
- ③ 発達支援に関する情報の収集、発信等を行います。

事業内容

1

発達相談

発達が気になる子どもや保護者の相談を伺います。

2

児童発達支援

就学前の児童に集団や個別での訓練や遊びを通して心身の発達を促すとともに、保護者への助言等を行います。

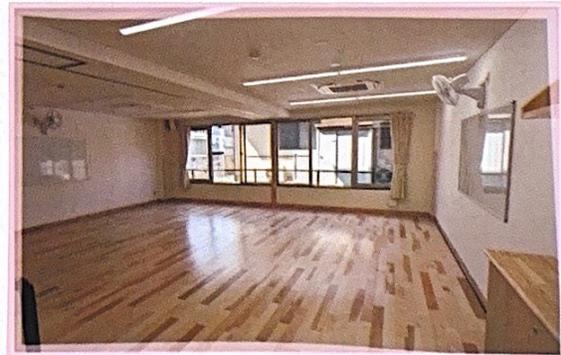
3

保育所等訪問支援

保育所等を利用中の子どもに対し、訪問により集団生活を送るための支援を行います。



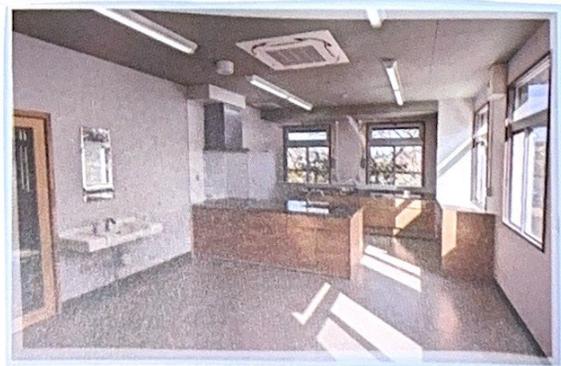
▲指導室①



▲指導室②



▲言語聴覚室



▲調理室

利用のご案内

開所時間：午前8時30分から午後5時

開所日：月曜日～金曜日

(祝日、12月29日から翌年1月3日までを除く)

※本施設を利用される場合には、多治見市が発行する受給者証が必要な場合がございます。詳細は、一度「わかば」へお問い合わせください。

【参考】建設工事概要

(1) 建物概要

構造規模／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造一部2階建

延床面積／1,252.97㎡ 敷地面積／3,124.00㎡

(2) 施工者／工事監理 株式会社デザインボックス

建築工事 新興建設株式会社

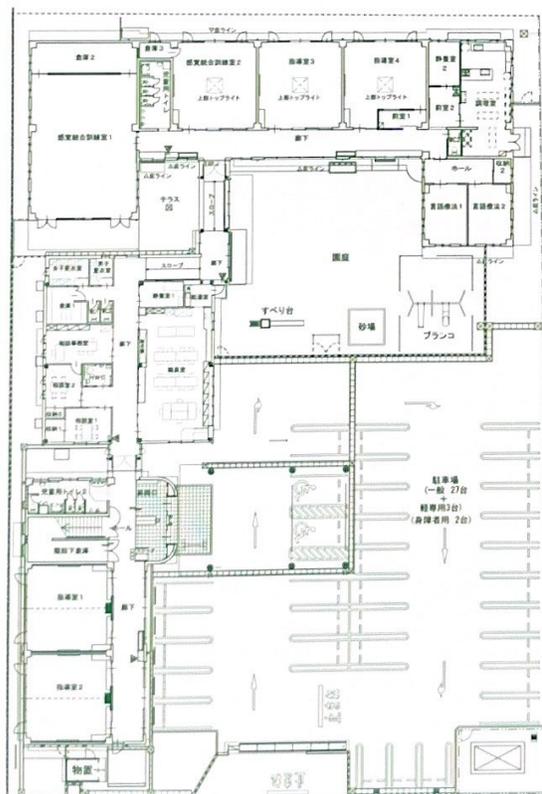
電気設備工事 小境電気工事株式会社

機械設備工事 五十嵐工業株式会社

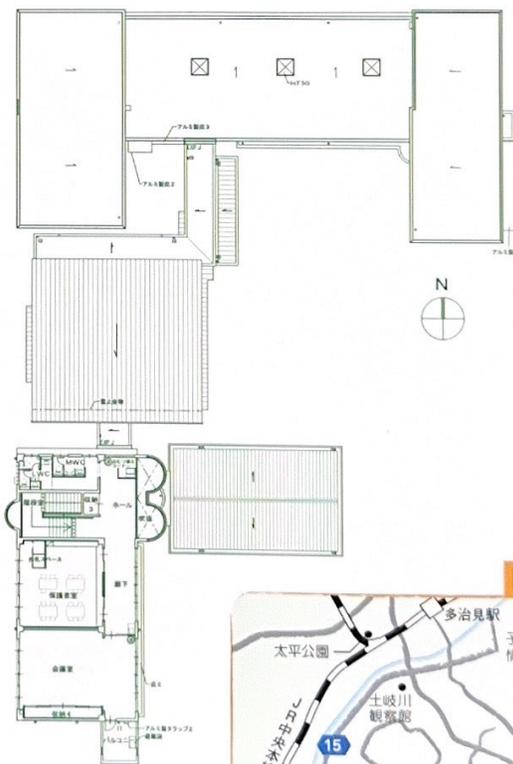
(3) 建設費／454,960,000円(総事業費4.8億円)

(4) 工期／令和5年6月～令和6年2月

この建物は、令和2年2月24日に学校法人溪泉学園から譲り受けたものです。



1F



2F



住所：多治見市脇之島町7丁目59番地13 電話：0572-25-0783